

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 4月 24日 更新

事務事業名		総合健康センター施設維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	産業振興部	課長名	松田 勝
	施策	2	行政改革の推進		所属課	商工振興課	担当者名	村上 淳二
	施策の柱	12	公有財産の管理運営		所属班	商工振興班	(内線)	5215
予算科目	会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11284	根拠法令	合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」条例 指定管理者協定書	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成13年7月、西合志町総合ふれあい健康センター「ユーパレス弁天」が開館。(管理運営業務を概にしごうしに委託) 地方自治法改正に伴い、管理委託制度から指定管理者制度に移行し、第1回目の指定管理者協定を概にしごうしと平成18年8月~平成21年9月の期間で締結した。 ○合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の管理運営業務についての助言及び経営状況確認 ○指定管理者協定書に基づく、合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の施設維持管理事業。 ○現指定管理期間は、平成21年10月~平成24年3月であり、平成23年度に指定管理者更新を行い、引き続き概にしごうしを平成24年4月から平成26年3月までの2年間、指定管理者として指定した。 ○平成23年度に「大規模改修検討委員会」を開催し、開館後10年経過し老朽化が著しい施設の大規模改修の内容を検討した。 ○平成24年度に「大規模改修検討委員会」の答申に基づき、改修設計委託業務を行った。 ○平成25年度に大規模改修工事を行った。また、指定管理者選定を行ない平成30年度までの新たな管理者を指定した。 ○平成26年度から、新たな指定管理者による運営が行われた。(平成30年度まで) ○平成31年度に北熊本スマートインターチェンジの開通見込みであったことから、設備と特定天井の大規模改修を1年先に延ばし、平成31(令和元)年度は昨年度までの指定管理者に運営させることになった(12月議会上程)。 ○令和元年度は、令和2~5年度(4年間)の公募により指定管理者選定を行うところである。
【業務の流れ】	指定管理者指定 → 指定管理協定書の締結 → 協定書に基づく管理運営業務の助言 → 年次業務報告書に基づく経営状況確認 ○施設の修繕等については、管理協定書に基づき30万円(令和2年度の指定管理者更新以降は50万円)以上の修繕費について、指定管理者より協議書が提出される。それに基づき、審査を行い公益上必要と認められるものについて、修繕費の負担を行なう。 ○大規模な施設の修繕については、年次計画により市が直接工事を行なっている。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	トレーニングマシン、空冷チラー(サウナ等の水風呂の冷却に使用)等が老朽化のため故障しており、更新、修理を求める意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	・毎月の指定管理運営会議出席した。 ・指定管理協定に基づき指定管理料の支払いを行った。 ・施設設備の修繕、工事を行った。 (委託料) 施設保全計画等作成、温泉熱利用設備導入設計 (工事請負費) 排水処理入止フェンス工事、弁天係耐震工事、消防設備改修工事、塩素注入機取替工事、防犯カメラ取替工事、案内標識設置工事 (負担金) 汚水槽水中ポンプ取替工事負担金、総合健康センター施設修繕負担金、温泉協会負担金	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 令和2年度の指定管理者更新後、新たな運営の在り方について検討を継続する。 特定天井改修工事、温泉熱利用設備導入工事などを予定している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 修理箇所	件	特定天井改修工事等のため
→ イ: 修理等金額	千円	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」施設利用者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 来館者 千人
		→ イ: 〃
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	利便性・安全性を確保する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 修理済箇所数/要修理箇所数 %
		→ イ: 苦情・要望の対応件数/苦情・要望の総数 %
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
利便性・安全性の確保につながる施設修理済箇所の割合及びお客からの苦情・要望対応件数割合とした。施設大規模改修工事が終了すれば、施設の要修繕箇所はなくなる。また、お客の苦情や要望等で施設の老朽化に伴うものに対応できるため、平成25年度からは、施設修理済み箇所割合は100%、苦情・要望の対応件数割合は80%と設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度実績(決算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	3年度予定	4年度見込	5年度見込	
① 活動指標	ア 件		10	7	4	6	4	4	4	4	
	イ 千円		10,091	31,893	10,302	6,291	258,747	8,000	8,000	8,000	
② 対象指標	ア 千人		524	448	530	430	530	530	530	530	
	イ %		100	100	100	100	100	100	100	100	
③ 成果指標	ア %		100	100	80	100	80	80	80	80	
	イ %		100	100	80	100	80	80	80	80	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		10,289		5,083	118,936			
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円		23,600		4,700	78,400			
		その他	千円			2,077		2,077			
		繰入金	千円					60,000			
	(A) 事業費計	一般財源	千円	18,937	28,107	17,260	41,165	17,224	23,035	23,035	23,035
		(A) 事業費計	千円	18,937	61,996	19,337	50,948	276,637	23,035	23,035	23,035
		(A)のうち指定経費	千円	1,503	35	35	35	35	1,535	1,535	1,535
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3	3	3
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	1,720	1,600	600	1,634	600	600	0	0	
	(B) 人件費計	千円	6,804	6,307	2,390	6,475	2,390	2,390	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	25,741	68,303	21,727	57,423	279,027	25,425	23,035	23,035	

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 適切に改修工事を実施し、対応したため。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 施設の老朽化が進んでいるが、点検を徹底し、改修の必要性がある部分を洗い出し、計画的に改修を実施することで、適切な維持管理を行なうことができる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 施設の老朽化に伴い、今後施設の維持管理上の修繕要望は予想されるため向上の余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 当該施設における多くの機械設備が更新時期を迎えている中、省エネルギー化を図る等、経常費の削減に取り組む余地はある。施設の運営管理についても指定管理者制度の他、民間資金の活用など収益性の改善など検討を行う。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者と打合せながら業務を進めるため、必要最低限の人員であり、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 利用者は、サービスの対価として利用料金を支払うため公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の施設であるため、その施設の維持管理は当然行政が行なわねばならない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

指定管理者と連携を取りながら、改修箇所の確認と改修工事を行い、適切な施設管理を行なうことができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					